

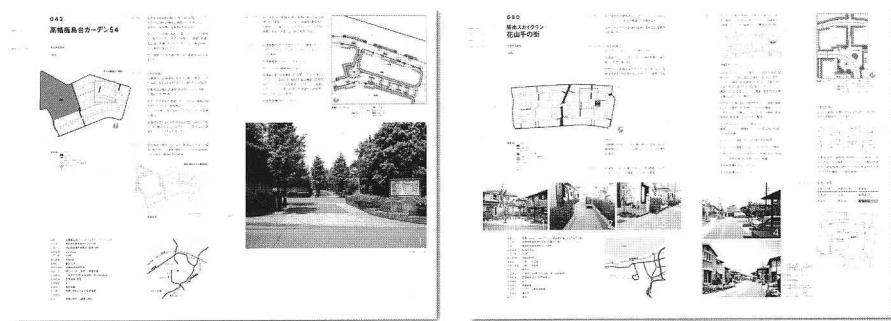
日本のコモンとボンエルフ

工夫された住宅地・まちなみ設計事例集

住宅生産振興財団 編 日本経済新聞社 発売

日本の郊外住宅地において、戸建て住宅による住環境はどのように形成されてきたのであろうか。本書は各地で先進的に試みられてきた現代のまちなみ設計の理論と手法を、多くの事例(116事例)と共に集大成したはじめての本である。まちなみへの視点、それはこれからの住宅設計にも欠くことのできない重要なテーマである。

2001年9月刊行



芦原義信 東京大学名誉教授

私が『街並みの美学』を上梓したのが1979年であった。良好な住宅地の環境とはどうあるべきかが問われてきて、ようやく日本でも「まちなみ設計」という言葉が語られるようになってきた頃でした。住宅設計は周囲の環境を考えずにはあり得ません。建築家は個々の住宅設計にエネルギーを注ぐだけでなく、「まちなみ」という視点が住宅そのものの美しさを磨き出すことをここから学んでいただきたい。



陣内秀信 法政大学教授

新しい住宅地開発にあたって、その土地の持っている歴史風土を読み解くことから、多くのインスピレーションを得ることができる。ハード面ばかりでなく地域に根ざしたコミュニティが育まれるためにも、それは欠かすことのできないことである。郊外住宅が生まれて100年、大きな曲がり角にきたともいわれるなかで、さまざまな挑戦がなされていくことを期待したい。



三澤千代治 ミサワホーム株式会社取締役社長 (住宅生産振興財団理事長)

「まちなみ財団」とも呼ばれる当財団が設立20周年を期にはじめたのが、自らコーディネートしたものでなく、全国規模の良質な住宅地の実態調査でした。この調査を通じて、多くのデベロッパー、住宅メーカー、建築設計や都市計画事務所、公団・公社などが積み重ねてきたものが浮かび上がってきました。私達の真の挑戦は良質な環境の創造にあると考えておりますので本書をステップとして、さらに今後の飛躍につなげていただきたいと思います。願う次第です。



目次

郊外住宅地形成・小史

まちなみ設計事例集

住宅地一覧

住宅地マップ

設計手法インデックス(年代順)

「まちなみ設計事例集」の構成事例紹介(116事例)

まちなみ用語解説

住宅地開発年表

住宅ストック・住宅着工数動向



A4判、並製本308ページ、オールカラー

発行=日経事業出版社

ISBN4-532-65000-3 C3452

発売元=日本経済新聞社

定価=本体8000円+税

本書は一般の書店でも扱っています。店頭がない場合は、書店にご注文いただくか、直接発売元へお問い合わせ下さい。

(財)住宅生産振興財団

105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-19

秀和第2虎ノ門ビル7F

phone 03-3580-8811

fax 03-3580-9422

www.machinami.or.jp